


*本書はイタリア語の説明書を補完するものです。取付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。

*この補足説明書およびイタリア語の説明書は、いつでも取出して読めるよう大切に保管して下さい。

*この商品もしくはこの商品を取付けた車輛を第三者に譲渡する場合は、必ずイタリア語の説明書とこの補足説明書を併せてお渡し下さい。

 359FZモノロック用フィッティング (モノロック専用)	適応車種	商品番号
	FZ-1 2006	63544

この度はデイトナ「Givi モノロック用フィッティング」を、お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。また、取付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。

なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談下さい。

<特徴> この商品は指定部品（キャリアに該当）のため構造変更届け等は不要です。

おことわり 本品装着にあたってはフェンダーのカットが必要です。またテールカウルの脱着や補強ブロックをシートレールに挿入するなど複雑な工程があります。必ず熟練した作業者の手で取り付けを行ってください。

他のFZシリーズフィッティングとは異なり、本品と組み合わせ可能なベースは**M5M(モノロック)**だけです。なお、**E370(39%)**以下のケースを**2キログラム**以内の積載でご使用ください。

警告 「身体や生命に危害を及ぼすと予想される事故の防止」のために必要な事項の表示

- 各商品の指定積載上限を必ず守って下さい。本品は車体の構造を鑑み、特に制限を厳しく設定しています。
- オフロード走行をしないで下さい。
- 公道に限らず 100 km/h 以下で走行して下さい。
- 組付け作業には専門知識と専門技術が必要です。信頼できる販売店にご依頼下さい。**
- この商品は、記載されている適応車種以外の車輛には使用できません。
- 取付けは確実に行って下さい。また、走行中にネジ部等が緩まないように、所定トルクで確実に締付けて下さい。
 $M6 \cdot \cdot \cdot 1.0 N \cdot m$ $M8 \cdot \cdot \cdot 2.0 N \cdot m$ ネジロック剤の併用をお勧めします。
 純正パーツの締めつけトルクは、ヤマハ発動機(株)発行のサービスマニュアルに従ってください。
- 取付け後、約 100 km 走行しましたら、各部を点検しネジ部等の増締めを行って下さい。その後は約 500 km ごとに必ず点検を行い、同様の増締めを行って下さい。
- 走行中に異常が発生したと思われる場合は、直ちに車両を安全な場所に停止し、異常箇所を点検して下さい。以上に抵触した場合は、商品の破損や車体の損傷を招くだけでなく、事故を誘発しお客様が重傷を負ったり死亡する可能性があります。また第三者の財産や生命を損なう恐れがあります。
- この商品を取付けた場合、車輛重量の増加と重心移動などの理由によりハンドリングおよびブレーキ性能などが悪化します。

注意 「デイトナ商品や純正部品、車体の損傷を防止」するための事項の表示

- 組付けは取付け手順に従って下さい。
- 組付け作業が終わるまでエンジン始動、走行は行わないで下さい。
- 点検を怠ると重大な事故やトラブルの原因となります。必ず実施して下さい。
- 乗車前に必ずケースを引っ張るなどしてケースのロック状態や本品の装着状態を確認してください。
- 乗車前には必ず各部を点検し異常がある場合は走行しないでください。
- この商品を掴んでメインスタンド掛けや車体の取回し、転倒時の引き起こし等をしないこと。破損や変形の原因になります。

要点

- この商品は**39%**以下の**モノロックタイプのトップケース**のみ組み合わせ可能です。詳しくは当社総合カタログまたはホームページ <http://www.givi-jp.com>をご覧ください。

塗装に関する注意事項

- * 基本的に、**塗装やメッキ等の表面処理に関するクレームは受け付けておりません。予めご了承下さい。**

内装袋の廃棄に関する注意事項

- * 内装の袋は焼却してもダイオキシンの発生がないポリエチレンを使用していますが、廃棄する際は必ず地域の条例に従って処分するようお願い致します。

組み付けおよび商品内容はイタリア語の取説をご参照下さい

取付方法

テールカウルアセンブリを取り外します。下側にあるプラスチックファスナは真ん中の「へそ」を押し込むとロックを解除できます。テールランプのコネクタも外します。



プラスチックファスナ



テールカウルアセンブリ

要点

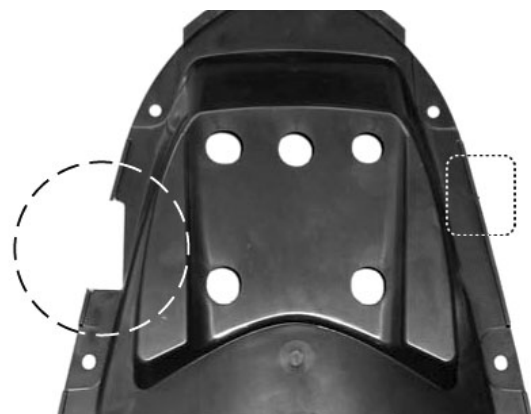
テールカウルアセンブリを車体から外す際は、最狭部を手で広げながら左右方向に傾けると比較的うまくいきます。

シートレールの開口部に 補強ブロックを挿し込み、ステーをボルト類で仮組みします。



補強ブロック

ステーと干渉するフェンダ部にナイフなどで切り欠きを設けます。一度に切らずにステーが鉛直になるように少しずつ切り欠きます。弊社確認車両では前端が12～15mm、後端が7～9mmの切り欠き幅でした。現車にあわせて調整してください。



イタリア語の取説A、B、C図を参考に各パーツを仮組みします。 テールカウルは被せない。一旦M5 Mモノロックベースを載せて位置決めしたら、A図の部品を本締めします。

A図の部分は完成後には容易にアクセスできません。ネジロック剤を必ず使用してください。



ハイマウントストップランプの配線をする場合は、テールカウルを被せる前に配線を取り出しておきます。弊社確認車両では黄線が⊕プラス、黒線が⊖マイナスでした。

念のためサービスマニュアルの配線図を参照の上、サーキットテスタを用いて確認してください。必要に応じて配線は適宜延長してください。

簡易な検電器などでは正しく測定できません。

一旦、M5 Mモノロックベース及び サイドアームを外してからテールカウルアッセンブリを元に戻します。再び、上記パーツを組み付け、位置を確認したら規定トルクで本締めします。

タンデムステップホルダの取り付けボルト(純正ボルト)は完全洗浄の上、ねじロック剤を塗布し2.3 N・mで締め付けてください。



各部に目隠しキャップを被せて完成です。

イタリア語の取説にある、 はM5 Mモノロックベースの付属部品、 は車体の純正部品です。したがって本商品には含まれません。

(現車確認は'2006年型カナダ仕様で行っています。年式、仕向地によって細部が異なります。)

車両の仕様についてのご質問は車両メーカー、販売店、輸入代理店などをお願いいたします。

予告なく商品の仕様、価格等を変更する場合があります。

株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona-mc.jp>

E-mail: info@daytona.co.jp

デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで

G I V I 専用 <http://www.givi-jp.com>